

No. 5

2月号

令和5年
2023・1・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

特集

もっと日立が好きになる 日立の魅力再発見 バスト5

長野県生まれの作詞家・高野辰之(1876-1947)は幼少期に遊んだ山野を思い出しながら、文部省唱歌『故郷(ふるさと)』(大正3年)に「兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れ難きふるさと」と詠っています。足元に広がる山川はふるさとそのものです。

ふるさと日立は、西は阿武隈山系が連なり、東は起伏に富んだ太平洋の海岸線を臨み、穏やかな気候と豊かな自然環境に恵まれています。

寒村であった本市は、明治38年(1905)久原房之助が日立鉱山を創業することにより大きく発展し、日立製作所とともに、鉱工業都市として成長を遂げてきました。

しかしながら、人口減少と少子高齢化現象は、本市においても避けることのできない今日的な課題です。

日立市は、「もっと日立が好きになる」をキャッチコピーに、現在各地区のコミュニティと連携し約20のウォークコースを設け、ふるさとの魅力を再発見する事業を展開しています。

当センターは、すでに40年ほど前から委員会を組織し、変わりゆく郷土の姿を映像に記録し編集してきました。その数約50点。日立市を象徴する166mの大煙突、高原小学校をはじめ、すでに消え去ってしまった姿を映像文化として遺しています。今回、特に「ふるさと再発見シリーズ」の中からオススメ作品をご紹介します。

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------|---|---|--|--|--|
| タイトル | 日立二十四景 | 日立の文化財めぐり | 大久保のいまむかし | 会瀬のいまむかし | 共楽館界隈 |
| 制作年 | 2007年 | 2012年 | 1997年 | 2008年 | 1999年 |
| 時間 | 30分 | 58分 | 22分 | 21分 | 20分 |
| オススメポイント | 美しい自然や歴史遺産、産業の姿をハイビジョンカメラで撮影。日立市内で魅力度の高い場所を24選にまとめた見応えのある観光ダイジェスト版作品。 | 歴史・民俗・美術・自然等の日立の貴重な文化財を、北・中・南の3部構成で分かりやすく紹介する、日立の歴史や文化を知る手がかりとなる作品。 | 大久保鹿島神社の秋季祭礼・鎗流馬神事の裏側を丹念に取材。さらには古い写真を活用し比較することで、地域の今昔を学べる見応えのある作品。 | 歴史と自然に育まれ、郷土を愛する人々の姿をハイビジョンカメラ撮影。今も昔も世代間の結びつきを大切に海と共に生きる姿を丹念にまとめた作品。 | 日立鉱山の福利厚生・文化施設として歩んだ共楽館の歴史を振り返りつつ、市民の支援により平成11年国登録文化財指定に至る活動を紹介する作品。 |

地上より永遠に

FROM HERE TO ETERNITY

第26回アカデミー作品賞、監督、助演男優・助演女優賞受賞、8部門受賞
公開：1953年 時間：118分



監督：フレッド・ジンネマン
原作：ジェームズ・ジョーンズ
出演者：パート・ランカスター
モンゴメリー・クリフト デボラ・カー
フランク・シナトラ

今月の
オススメ
大津

日本軍が真珠湾(ハワイ)を先制攻撃することでアメリカに宣戦した時代を背景に、しごき等による大戦中のアメリカ陸軍内部の腐敗や兵士たちの葛藤を描いた人間ドラマ作品。
貸出番号：1200527

